

四月廿四

36. 調査

1551

昭 17. 4

ジャバングー陥落反響支那本部

陸文書交際部
資料第二四九号

支那派遣軍司令部

一部
4月14日 調査
支那本部

四部

昭和 17. 4. 16
陸軍省
東支

陸軍省
17. 4. 16
軍務課

陸軍省
17. 4. 16
軍務課

陸軍省
17. 4. 16
軍事課

参考資料第一四一號（治安）

ジャワ、ラングーン陷落ノ反響（支那人ノ部）

昭和一七、三、一八
支那派遣軍參謀部

（次 目）

概 況

一、一般反響ノ部

二、政界並ニ文化界綜合

三、失業各一般（綜合）

四、實業家（鐵工場主、社交會ニ於テ相當活躍）

五、座談會ノ部

概況

僅少ナル材料ヨリ綜合スルニ今次「ラングーシ」、「スラバヤ」ノ陷落ニ依リ日本ノ企圖スル大東亞共榮圈確立ノ基礎ハ成リ然シテ日本ノ指導權ハ確立サレタリト看取シ、聖戰ノ眞意ヲ理解シ中日完全妥協ニ依リ白人征服ノ野望サヘモ抱キアル者アリ、然シ乍ラ反面日本ノ軍力ニハ屈服スルモ其ノ政治要路者ニ人物無キヲ憾ミアリ、即チ和平ノ好機ナリト信スルモ其ノ不可能ナルハ日側ノ苛酷ナル條件ニ依ルモノナリト曲解シアリ。

特ニ上海ニ於ケル悲慘ナル現狀ヨリ觀察シ抗戰目的達成ノ爲タスルハ獻ハネト現在ノ如ク無爲ニシテ只饑死ヲ待ツ如キ日側ノ政策ニハ同意シ待ス、共榮圈確立ニ協同ヲ望ミツツ食糧ノ配給スラ不可能ナル如キ現狀ニ

於テハ蔣介石政權下ヲ美マサルヲ得ストノ理論ヲ爲ス者有ルハ注意ヲ要ス。

一、一般反響ノ部

1. 政界並ニ文化界綜合

「ラングーン」並ニ「バタビヤ」ノ失陷ハ英米ノ東亞ニ於ケル最後ノ據點ノ喪失ヲ意味スルト共ニ日本ノ大亞細亞建設運動ノ指導資格ヲ決定的ナルモノトシタリ、此處ニ於テ其ノ戰後ノ經營ヲ最モ完全ナラシムヘク更ニ遠大ナル計畫ヲ樹立スヘキテアル。

然シ乍ラ依然重大問題トシテ殘ルハ重慶ノ處置ナル現在日本ハ獨伊ト密接ニ聯繫ヲ有シアルモ將來豫想シ得ル白人種對黃人種鬭爭ノ爲ニモ可及的速カニ中日ノ全面的和平提携力必要ナリ、英米兩國カ

今日迄採用シ來リシ方法ハ壓迫、搾取以外ニ何物モ無カリシ事ハ重慶政權中誰一人トシテ知ラサル者ナキ状態ナリ、蔣介石ヲ始メ其ノ一派トテ同様ナリ、亞細亞人カ亞細亞主義ニ反對スル筈ハナイ、特ニ知識階級ニ於テハ以前ヨリ此ノ主張ヲナス者非常ニ多ク存在シアリタリ、蔣介石トテ之ノ一派ナリ。

然ルニ今日迄其ノ對日政策ヲ變更セサル理由ハ日本ノ和平條件カ餘リニ峻嚴テアリ不利テアルカラテアル。日本ハ軍國トシテ實ニ賞嘆ニ値スルモノテアリ其ノ戰鬪意識ハ全ク比類ナキモノテアルカ政府當路者ハ實ニ狹量過キル、然シ又英米ノ勢力ヲ亞細亞ヨリ完全ニ驅逐スルニハ中日ノ根本的提携カ絶對必要ナルコトヲ認識シアル人多數アル。此ノ兄弟國タル兩國カ抗戰ヲ繼續スル事ハ誠ニ悲シムヘ

キ争テアル、若シ此ノ兩國カ提携シ其ノ指導ノ下ニ亞細亞民族十億
カ團結スレハ今後二十年以内 六億ノ白人種ヲ征服スル事ハ最も容
易ナル事テアル。日本カ支那ヲ完全ニ征服スル意圖ヲ有セサル限り
ハ重慶トノ直接和平ヲ爲スヘキテアル、然シテ英米勢力カ完全ニ驅
逐サレタル今日ハ最好機ナリ。

2. 失敗各一段（綜合）

日本軍ノ占領地域内ノ戦後經營ニ人的資源カ最も緊要ナル事ハ言ラ
俟タス、人口過剰ノ上海ニ在ル華人ノ多クハ何時タリトモ南方移住
ノ用意有リ合法的ナル方法ナレハ日本軍ニ徵用サレル事モ良ク此ハ
日本ニ取リテハ一石二鳥ニシテ人的解決及其等業者ノ對日協力ハ眞
實ナルモノニ違ヒナキナリ。

3. 實業家（鐵工場主、社父會ニ於テ相當估置）

「ラングーン」及「パタビヤ」ノ禍落等總テ我等ニハ觀念的坑象ニシカ過テ、我々ノ現實ハ生活ノ脅威ニ在ル、日本ノ提唱スル東亞共榮國モ、東亞解放モ總テ我等ニ何等ノ利益ヲ與フルモノニ非ス勿論我々ハ其段階ハ過渡期ナルコトヲ知得ス、即チ最モ困難ナル時期カ現在ナル事ヲ確實ニ認識シアルモ弗ノ下落ニ依ル生活困難ス鐵線内ノ人間ノ日々饑死スル狀態ヲ坐視スルヲ得ス、自分ハ饑死スルハ乞食ノミナリトノ觀念ヲ有シアリタルモ今日ニ於テハ知人々小兒カ次々ト倒レテ行クヲ看過スルヲ得ス。

有史以來今日ノ如ク上海カ饑飢線上ヲ彷徨シタル時代ハ無シ、無道ナル蔣介石トテ今日ノ如キ狀態ヲ放置シ得サルヘシ、自分ハ現日本

ノ處置ニ對シ怨ヲ抱ク者ナリ。

東亞解放ニ協力ヲ希望スルナラハ先ツ米ヲ與ヘヨ、食物サヘ得ルナ
ラハ衣類其ノ他ハ必要ナシ。

二、座談會ノ部

三月十二日夜某所ニ於テ工作關係者ヲ集合シ座談的ニ「ラングーン」
及「スラバヤ」陷落ヲ機トシ各種ノ意見ヲ聽取セントシタルモ觀念的
理論ニ終始シ成果極メテ少カリキ、然シ乍ラ英米ノ謀略的支配ニ依ル
從來ノ東亞政策ヲ完膚無キ迄ニ破壞シツツアル皇軍ノ實力ニ讚嘆スル
ト共ニ中日協同スヘキ時期ナリトシ所謂抗戰目的ノ喪失ハ確實ニ認め
得ルモノナリ。然シ乍ラ「ラングーン」ノ陷落ニ依リ直チニ重慶ノ動
搖或ハ抗戰意識ノ喪失ヲ來タスカ如キ觀念ヲ總テカ抱キアルハ過早ニ

シテ以前ト異リ完全ニ孤立遮斷セラレタル上海人ノ諸情勢ニ暗キ一面ヲ表示セルモノナリト思考ス。

特ニ一般ニ大東亞戰勃發前ニ於テ皇軍カ現對峙ノ線ニ停止シ重慶ヲ衝カサリシ事三年ニ渉ルヤ全ク日本ノ現戰力ヲ以テシテハ重慶屈服ノ能力無キカ如キ觀ヲ抱キアリタルハ支那事變ニ依リ我カ國力ハ數倍セリトノ我カ方言ヲ信シ得サリシニ依ルモノニシテ大東亞戰ノ赫々タル戰果ニ依リ全ク對日認識ノ不十分ナリシ事ヲ痛感スルト共ニ日本ノ對支政策即チ宣戰布告セサル中國民衆覺醒戰爭ノ眞意ヲ把握シアルハ大ナル收獲ナリト信ス。

出席者

李國華

吳水吉

李自雲

蔣谷正

陳劍峯

徐鴻年

張權威

辛長林

辛幼飛

楊雲亭

張志銳

薛松生

曾月明

董文忠

謝徵

周振鄉

密昌

徐寶璜

許漢明

呂勉直

夏煥新

問：皇軍ノ大戦果ノ理由及戦果ニ對スル所感

夏：中、英、米ノ三國ハ均シク日本ノ實力ヲ低ク評價シアリシカ大東

亞戦勃發以來其ノ強大ナル力ヲ現實ニ證明セラレタリ。

敵ヲ知り已ラ知ルハ百戦危カラスト。

日軍ハ今ヤA B C D包圍陣ヲ打破シ南太平洋ニ於ケル英米ノ各根據

地ハ奪取セラレタリ。

自己ノ考スル所ニ依レハ英米敗戦ノ原因ハ左ノ如シ。

1. 日軍戦闘力強大

2. 英米軍ノ戦闘ニ對スル未經驗

3. 英米壓迫下ノ南洋群島ノ弱小民族ヲ開戦ト共ニ獨立心ヲ惹起セシコト

4. 中國民衆及東亞民族カ日軍ノ進攻ト相俟ツテ解放復興ノ好機ト

ナシアルコト

5. 驕ル兵ハ必敗ス英米ハ海軍ノ力量ヲ誇張シ來レリ、即チ斯クノ如キ自誇自驕力運敗ノ因ナルヘシ

從ツテ英米軍ヲ集中セシ「シンガポール」、「マニラ」、「ジャバ」「スマトラ」、「ラングーシ」等ノ如キモ前後シテ日軍ノ占領スル所トナリ在住ノ諸弱小民族及中國ハ從來英米ノ壓政下ニ苦シミアリ

タルモノナリ。

此ノ意味ニ於テ今次大東亞戰ハ聖戰ニシテ東亞民族解放ノ偉業ナリ
總ラク中日共同ノ下ニ目的達成ニ邁進セント希望スルモノナリ。

曾：世界各國ハ均シク日本海軍ノ偉大ナル力ヲ認識セリ、英米ノ東亞
侵略ハ謀略ニ終始シ以テ中華民族ヲ利用シ對日戰爭ニ導入センメタ
リ。今次ノ英米ノ打撃ハ東亞民族ノ汚點ヲ拂拭セルモノニシテ黃種
民族復興ノ光榮ヲ擔フモノト言ヒ侍ルモノナリ。

張：開戰前英米ハA B O D包圍陣ヲ結成シ對日威嚇ヲ爲シタルモノ一
戰端ヲ開クヤ相繼イテ南洋諸島ノ英米勢力ハ陷落セリ、之ハ英米侵
略ノ假面ヲ剥カレ其ノ眞價ノ如何ニ劣弱ナルカタ知ラシメタルモノ
ナリ。

之カ爲英米依存下ニアル重慶分子ノ夢想ハ完全ニ打破セラルヘシ。

吳：日支事變既ニ五年ニ達セルハ日本カ警告的行爲ヲ爲シアリテ中國ノ覺醒ヲ促スニ依ルモノニシテ實力ヲ發揮セルニ非ス然ルニ今次ノ南洋各島ノ占領ハ完全ニ日本ノ實力ヲ表示スルモノナリ日本ハ中國ニ對シ未タ宣戰セサルモ、米英ニ對シ宣戰スルヤ恰モ迅雷ノ如ク南太平洋ノ各島ヲ占領シ爲ニ英米勢力ハ恰モ没日ノ觀アリ。

李：諸意見ヲ綜合スルニ大東亞戰勃發前ノ日本ノ對重慶攻撃ハ無力ナル爲發展セサルニ非スシテ其ノ眞意ハ武力ヲ以テ中國ヲ克服スルニアラスシテ只中國ニ於ケル抗日思想ヲ消滅セントスルニ在リテ領土ヲ侵略スハ目的ニ非ス。

日本ハ英米カ其ノ間ニアリテ暗躍ヲ續ケアルヲ探知シアリタルナリ

故ニ大東亞戰ニ對スル觀點トハ全然不同ナリ。

問：「ラングーン」陷落ノ重慶政權ニ及ボス影響

密：抗戰目的達成ノ爲英米ニ依存セル重慶政權ハ「ラングーン」陷落ニ依リ援蔣「ルート」ハ遮斷サルル事トナリA B C D聯環ハ最短期内ニ變化スヘシ。

會：英米ノ援渝路線ノ斷絶ニ依リ重慶政權内部ニハ大ナル動搖ヲ來ス

ヘシ、其ノ原因左ノ如シ。

1. A B C D包圍陣線ハ既ニ潰滅セラル

2. 「ソ」聯ノ援蔣ハ聯合國トシテ任務ニ非スシテ「ソ」獨目ノ見解ヨリナスヘシ

3. 一般民衆ノ對英米信賴性ハ既ニ喪失セリ

中共ノ勢力擴張トニ依リ國共ノ摩擦ハ必然的ニ惹起スヘシ

辛：「ラングーシ」陷落後英米ノ東亞ニ於ケル潛勢力ハ悉ク失ハレタリ而シテ從來中國民衆ノ英米ヨリ受ケタル壓迫及侮辱ハ既ニ清算セラレ英米勢力ハ漸次衰落ノ途ヲ辿リツツアリ、此ノ際更ニ日軍ハ徹底的ニ英米ヲ制裁シ中日和平ノ途ヲ拓カレンコトヲ切望ス。

李：「ラングーシ」陷落ニ依リ重慶ノ英米依存勢力ハ減退セサルヲ待サルヘク同時ニ英米ニ對スル信賴ノ念亦激減セラレA B C D陣線ノ動搖及一般人心ノ動搖ハ必然的ナリ、重慶ハ「ソ」聯ノ援助有リト雖モ反面中共ノ陰謀アリ此ノ間ニ在リテ「ソ」聯自身ノ眞ノ意圖ハ那邊ニ在ルヤ？國共ノ紛爭、分裂ハ豫想サレル所ナリ
要スルニ「ラングーシ」陷落ハ有ユル點ニ於テ中國一般民衆ヲシテ

觀念ノ改變、政權ノ分裂等ヲ發生セシムヘキモノナリ。

理想ト現實トノ相違ニ依リ中國ノ抗日思想ハ漸次消滅ノ傾向ニアリ
問：重慶ハ對日和平ヲスルカ抗戰ヲ繼續スルカ

徐：支那事變ハ當然和平ノ可能性有ルヲ信スルモ其ノ時期如何ニ關シ
テハ言明シ得ス然シ重慶カ其ノ戰鬪力ヲ減少セラレタル後ハ必ス和
平ヲ考慮スヘシ

戰爭ニ對シテ一般人民ハ壓戰的氣運ヲ有シアリ蔣介石ハ中共及英米
ノ策動ニ乘セラレアルモノニシテ直接意見具申スレハ單獨和平ヲ考
慮スヘシ。

密：蔣政權ハ和平ヲ牽制シツツアルモ人民ハ均シク和平ヲ希望シアリ
我々ノ切望スル所ハ誠アル親善ニ依リ眞ノ和平ノ到來ナリ。

謝：誠アル親善、眞ノ和平實現ハ英米ノ陰謀ヲ剷除及中共ノ潰滅ニ依リ完成スルコトヲ得ルモノナリ。

曾：近キ將來ニ於テ和平實現ノ可能性アリ、即チ英米ノ陰謀ハ完全ニ暴露セラレ和平運動ニ對シ一般民衆ハ深ク期待シアリ。

張：和平ニ對スル最大ノ障礙ハ共產黨ナリ、故ニ中日兩民族ヲ共同努力ニ依リ反共建國ヲ實現セハ必ス眞ノ和平ヲ得ラルヘシト考フ。

夏：反共建國ハ中國目前ノ最大任務ナリ、反共而シテ建國、建國而シテ反共ナリ、建國後ハ民生問題ニ基キ武力ヲ以テ英米ノ各種工作ヲ驅逐シ得テ初メテ永久的の和平ニ到達シ得ルモノナリ。

李：和平ノ可能性大分ニ有リ、即チ

ノ過去ニ於ケル對日反感

2. 盲從的英米依存

以上二點ヨリ一般民衆間ニ和平觀念ヲ有スルモ一般民衆ハ英米ノ潛行勢力及共產黨ノ破壞工作ノ爲阻止セラレタルナリ、故ニ我々ハ彼等民衆ヲシテ反共建國ノ眞意ヲ認識セシメ和平ハ中國人民ニ採リテ最重要ナル事ヲ知ラシムヘキナリ。

中日和平ハ中國民衆自身ノ責任ナリ。

我等ハ「和平ノ爲ニハ死シ」「抗戰ノ爲ニハ死セス」ヲ強調スル必要アリ。